食農教育活動

5月に植えたジャガイモを収穫し、その成長過程を学ぶと共に、実際に食べてみて『食と農』の大切さを実感するため、7月29日に淳城西小学校5年生はジャガイモ掘りを行いました。

当日は天候にも恵まれ、JA女性部や農業技術センター協力のもと収穫作業が始まりました。児童たちは、一生懸命土をかき分け大きく実ったジャガイモを手に取り、満面の笑みを浮かべていました。

収穫作業後には、とれたてのジャガイモの塩煮を食べました。児童たちからは、「春に植える作業は大変だったけど収穫ができてうれしい。」、「色々な形のジャガイモが実っておもしろかった。おいしいジャガイモを食べたら、植えた時の大変さも忘れました。」といった感想が発表されました。

今回収穫したジャガイモは、産業フェアや種苗交換会に出品する予定です。

▲児童たちが育てたジャガイモは大豊作となりました

▲みんなで力を合わせて収穫した後は、新鮮なジャガイモを美味しく食べました。

JA助け合いグループ たんぽぽ会

住んでいて良かったと実感できる地域づくりを目指す活動の一環として、JA助け合いグループたんぽぽ会(藤田ミヤ子会長)は8月7、8日に一人暮らしのお宅を訪問し、草取りボランティアを行いました。この活動は、去年から始まり今年で2回目となります。

8月7日には二ツ井町荷上場地区のお宅の草取りを行いました。当日は時折強い雨の降るあいにくの天候でしたが、草取りの作業を行い約1時間の作業で家の周りはとてもきれいになりました。

ボランティアに参加した会員は、「お盆を気持ちよく迎えていただければと思い、この活動を始めました。ただ草を取るだけではなく、お家の方と会話をするのもこの活動の楽しみの一つです。」と笑顔で話してくれました。また、草取りをしてもらったお家の方は、「庭をきれいにしてくれて本当にうれしい。自分1人ではできないので大変助かりました。」と喜んでいました。

▲会話を楽しみつつ作業に励んでいます。

▲あっという間にここまできれいになりました。